

練馬区議会議員

やない かつこ
克子

保健福祉委員会
医療・高齢者等特別委員会



練馬区議会議員

やまさき
山崎 まりも

文教児童青少年委員会
みどり・環境等特別委員会



生活者ネットワーク 区議会ニュース

2025年 第三回定例会(9月5日～10月10日) 報告号



区民との対話ですすめる区政を

区立学校適正配置計画のもと、すすめられている豊溪中学校の統廃合や、今定例会で来年度の着工見送りが決まった区立美術館・貫井図書館再整備について、計画の見直しを求める意見を顧みず、住民との合意形成が不十分なまま計画通りに予算を執行してきた2024年度決算を認めることはできません。区民と直接対話する場を設けようとする現状は、本当に区民と協働する覚悟があるのか、区の姿勢が問われています。区民との対話ですすめる区政を求めて決算議案に反対しました。

決算特別委員会での主な質疑

1.総務費

区民意見募集、パブリックコメントの際に、子育てやごみ分別など既存アプリを活用するなど、より多くの区民から広く意見を集められるような工夫を

2.環境費

脱炭素と生態系への影響も懸念されるプラスチックについて、区民に削減を呼びかける立場の区役所における取り組みが不十分。脱プラに積極的に取り組み、本気度を示せ

3.保健福祉費

事業者の不足によりニーズに応えられないことから、ひとり親家庭ホームヘルプ事業の報酬を2024年度から引き上げた。しかし、30分単位にしたことで減収になった事業者が複数あり事業者の撤退を懸念。実態の把握を

4.都市整備費

「住宅の確保に特に配慮を要するもの」として国土交

通省令で定める外国人も住まい確保支援事業の対象者に入れるべき。また、「練馬区居住支援協議会」の構成員に困窮者支援団体等を入れ「住まいは人権」の実現を

5.教育、子ども家庭費

●給食の白衣の強いにおいなど、学校での香りの害「香害」についての相談が後を絶たない。最低でも1年に1回は児童生徒と保護者に周知すること。

●先進的だった区の香害、化学物質過敏症対策はいまや周回遅れでアップデートが必要。保健調査票の記述内容を見直すなど、児童生徒の学びと健康を守る視点で取り組み

●高校入試に導入された英語スピーキングテスト(ESAT-J)は公平・公正さに欠けるなど、入試制度設計自体に問題がある。都に中止を求めよ

●青少年問題協議会は若者当事者も構成委員にして、若者が抱える問題を把握し、寄り添った支援を

豊溪中学校の統廃合計画の見直しを求める3件の陳情が不採択!

計画ありきで、子ども・保護者・地域住民との合意形成がないまま強引に進める区の姿勢は、子どもの権利や地域の活動を軽視していることに他ならず、今後もこのようなやり方で学校統廃合が進められていくことに、私たちは看過できないと、陳情に賛成の立場で討論しました。



反対討論はこちら↑

生活者ネットワークの視点で2024年度決算を審議



「美術館・貫井図書館再整備計画」 が着工見送りに

今定例会の所信表明において区長は、美術館・貫井図書館再整備について区が予定している工期では事業者確保の見通しが立たないことを理由に来年度の着工は見送ることを明らかにしました。当初から建築資材や人件費の高騰等で、複数の自治体で公共工事の見直しを余儀なくされている状況において、計画の見直しを求める区民を顧みず計画通りに2024年度予算を執行。

今年度予算の解体工事費等を減額するとともに、運営を継続することになったサンライフ練馬や貫井図書館の経費を増額補正しました。しかし、現計画のままで事業者確保が現実的なのか疑問です。再整備計画はいったん白紙に戻し大規模改修も選択肢に入れて区民とともに見直しを検討すべきです。



不登校の子どもたちの多様な学びを 認め学校もそこから学ぶ姿勢を

文部科学省は昨年「不登校児童生徒が欠席中に行った学習の成果も一定の要件で成績評価の対象とする」と通知しました。しかし、区は校長会を通して伝えただけで、子どもへの周知や言葉の工夫は十分とは言えません。保護者からは「各学校が理解し、実践しているのか疑問」の声が上がっています。

通知表は本来、子どもや保護者に学びの状況を伝え、次の学びを支援するものです。学校に行けなくても学びを続ける子どもたちが「応援されている」と感じられる配慮が必要です。

不登校の子どもたちの増加は、学校のあり方そのものが問われています。子どもたちの多様な学びを認め、そこから学校もまた、学ぶべきです。



訪問介護事業所の危機は地域で暮らし続けることの危機

2024年度の介護報酬改定で訪問介護の基本報酬が引き下げられ地域に根差した小規模な訪問介護事業所の多くが打撃を受けています。区長は「介護報酬の改定は制度設計した国の責任において実施すべきもの」という考えですが、私たちは訪問介護事業所の危機は「安心して住み慣れたわが家で暮らし続けること」の危機であると考えます。

区は、2024年度決算、2025年度補正予算で社会機能の維持に欠かせない介護・障害者児サービス事業所や保育施設等を対象に「施設等運営支援臨時給付金」を支給しますが、訪問介護事業所への支援はそれぞれ1.5万円、6.5万円とあまりにも低いと言わざるを得ません。現状を把握し適切な支援をすべきです。



2025年度補正予算について

土支田農業公園のソーラーシェアリングを提案

農作物の上にソーラーパネルを設置するソーラーシェアリングは、猛暑が続く中、作物や生産者を直射日光から守り、発電した電力を非常時に地域へ供給できるなど、農業を持続可能にする有効な手段として全国に広がっています。しかし、生産緑地法による制限があり区内の農地での設置は困難な状況です。そこで、生産緑地ではない土支田農業公園での導入を提案しました。また、都市農業フェスティバルを通じた他自治体との情報交換も求めましたが、区は実態の聞き取りも、情報収集さえも行わないとのこと。提案に対しては、少なくとも新たな情報を収集し、検討すべきという理由で今回の補正予算に反対しました。

感震ブレーカー(揺れを感じし自動で電気を止め火災を防ぐ装置)の無償貸与対象世帯が拡充

これまでの対象世帯、地震発生時に建物倒壊や延焼の危険性が高い防災まちづくり事業実施地区の木造住宅世帯や、災害時に自ら避難することが困難で特に支援が必要な避難行動要支援者のみ世帯から、区全域の木造住宅に拡充されます。

ベルデ武石・軽井沢にエアコンがつきます！

この夏にベルデ軽井沢に行った子どもたちから「暑くて寝苦しかった」などの声がありました。今回、補正予算でベルデの空調設備等設置経費が計上。ただ、人手不足等により実際に工事に入れるのは来年の夏が終わった9月から。あとひと夏はエアコンなしです。

●information● ●第四回定例区議会2025年11月28日(金)～12月12日(金) 一般質問 やない克子(予定)
※本会議はインターネット動画配信(生中継)でも傍聴できます。

